AR ルーターバージョンアップ手順書

CentreCOM AR700/500/400/300/100 シリーズ

アライドテレシス株式会社

P/N J613-M2972-02 Rev.G 060824

目次

1	ファームウェアインストーラーについて	
-	1.1 ファームウェアインストーラーの動作	3
	1.2 ダウンロードモジュール	3
	1.3 ファームウェアインストーラーの動作環境	4
2	ファームウェアインストーラーのインストール	4
	2.1 アンインストール	4
3	バージョンアップ	5
-	3.1 ダウンロードモジュールの解凍	5
	3.2 通信の確認	5
	3.3 バージョンアップの実行	6
4	トラブルシューティング	13
	4.1 ファームウェアファイルの転送に失敗する	13
	こ注意	14
	商標について	14
	マニュアルバージョン	14

1 ファームウェアインストーラーについて

1.1 ファームウェアインストーラーの動作

ファームウェアインストーラーは、ファームウェアやファームウェアに付随するファイルを AR ルー ターにインストールするツールです。ファームウェアをバージョンアップするときなどに使用し、AR ルーターに対する以下の操作を自動的に行います。

- ダウンロード済みのファームウェア、パッチ、ヘルプの削除
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどのダウンロード
- ファームウェアの有効化(enable)
- パッチ、ヘルプなどの適用
- AR ルーターの再起動
- ログファイルの出力 (YYMMDD_hhmmss.log)



図 1.1.1 ファームウェアインストーラーの動作

最新のファームウェアインストーラーは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

http://www.allied-telesis.co.jp/

1.2 ダウンロードモジュール

ダウンロードモジュールは、以下のファイルをセットにしたものです。「ar □□□□□□□ .exe」のような 名前の自己解凍ファイルで提供されます(□で表記した部分は機種、バージョン、パッチに依存しま す。また、リリースによっては一部のファイルが提供されないことがあります)。

- ファームウェアファイル (□□ □□□ .rez)
- パッチファイル (□□□□ □□ .paz)
- ヘルプファイル (help.hlp)
- リソースファイル (*.rsc)
- バージョンアップ情報ファイル (ar 000000 .ini)

最新のダウンロードモジュールは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

http://www.allied-telesis.co.jp/

1.3 ファームウェアインストーラーの動作環境

ファームウェアインストーラーは、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- Windows[®] 98, Windows 98 Second Edition, Windows Me
- Windows NT[®] 4.0、Windows 2000 Professional、 Windows XP Home Edition、Windows XP Professional

ファームウェアインストーラーは、下記の AR ルーターに適用可能です。

- AR700 シリーズ
- AR500 シリーズ
- AR400 シリーズ
- AR300 シリーズ
- AR100 シリーズ (AR100 を除く)

2 ファームウェアインストーラーのインストール

- 1 ファームウェアインストーラーの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に 置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- **2**次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先として「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

参照(<u>B</u>)
Fャンセル(Q)

図 2.0.1 解凍先のフォルダーを指定

3次のようなファイルが解凍されます。

SETUPTOOL		<u>- 0 ×</u>
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気(入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)	-
←戻る・⇒・白 ◎検索 凸ス	ゖルダ 🥝履歴 🔤 🕾 🗙 🖉)
アドレス(D) 🧰 SETUPTOOL	• 《移動	5] リンク ×
ffwinstexe md5.dll readme.tx	5	
個のオブジェクト	631 KB 🖳 マイ コンピュー	ターク

図 2.0.2 解凍されたファイル

2.1 アンインストール

ファームウェアインストーラーを解凍したフォルダーを削除してください。前述の例では、 「C:¥SETUPTOOL」です。

3 バージョンアップ

3.1 ダウンロードモジュールの解凍

- 1 最新のダウンロードモジュールを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。 ダウンロードモジュールをダブルクリックしてください。
- 2次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先としてファームウェアインストーラーと同じフォルダー「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

WinSFX32M V2.80.1.8		×
インストールするフォルダ(型):		
C:¥SETUPTOOL	参照(<u>B</u>)	
 □ スタートメニュー(ご登録(S) □ 関連付け(A) 		
Сокол	キャンセル(0)	

図 3.1.1 解凍先のフォルダーを指定

3.2 通信の確認

AR ルーターにファームウェアなどをダウンロードするためには、ファームウェアインストーラーを実 行するコンピューターと、AR ルーターが IP で通信できなければなりません。通信ができない場合は、 次のようにしてコンピューターと AR ルーターが通信できるように設定してください。以下の説明は、 次のような仮定で行います。ご使用の AR ルーターに合わせて適宜設定してください。

- AR ルーターの LAN 側のイーサネットインターフェース「eth0」^{*1}
- AR ルーターの LAN 側 IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.1/255.255.255.0」
- ファームウェアインストーラーを実行しているコンピューターのIPアドレス/サブネットマスク「192.168.10.100/255.255.255.0」
- コンソールターミナルから AR ルーターに Manager レベルでログインし (デフォルトのユーザー 名は「manager」)、次のコマンドを実行してください。

manager	>	enak	le	ip Enter	
manager	>	add	ip	interface=eth0	
ipaddress=192.168.10.1 mask=255.255.255.0 Enter					

2 Windows 98/Me の場合は MS-DOS プロンプトから、Windows XP、Windows 2000、Windows NT の場合はコマンドプロンプトから、AR ルーターに対して Ping を実行します。「Reply from 192.168.10.1 …」のように表示されれば通信が可能です。

C:¥> ping 192.168.10.1 [Enter]

*1 AR400/AR500 シリーズの場合、LAN 側のインターフェース「eth0」を「vlan1」に読み替えて ください。

3.3 バージョンアップの実行

重要:バージョンアップは、絶対に運用中には行わないでください。万が一、AR ルーター 運用中に実行した場合、バージョンアップに失敗するだけでなく、AR ルーターが起動でき なくなる可能性があります。

Ver.2.3.3 PL.1 へのバージョンアップを例にして、手順を説明します。実際の手順では、お客様がご使用になるバージョン番号に読み替えて、バージョンアップを実行してください。

1 CONSOLE ポート(RS-232)から、または Telnet によって、AR ルーターにログインしている場合は、ログアウトしてください(ログインした状態で以下の手順を実行すると、バージョンアップに失敗することがあります)。

manager > logout Enter

また、ファームウェアインストーラーは、IP アドレスがひとつのみ割り当てられたコンピュー ターで実行してください(コンピューターに複数のIPアドレスが割り当てられていると、ファー ムウェアの転送に失敗することがあります)。

2「fwinst.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



図 3.3.1 ファームウェアインストーラーの起動

3「参照」をクリックしてください。

🛲 製品の選択	×
ファームウエアのバージョンアップ	を行います。
ハーンヨンアツノ頃和シアイルと指	EUCTOV6
ファイル CHSETUPTOOLY	
次へ	終了

図 3.3.2

4 該当機種のバージョンアップ情報ファイル(ini)を選択して、「開く」をクリックしてください。 下記では、バージョンアップ情報ファイルとして「ar52233.ini」を選択しています。

ファイルを開く			×
ファイルの場所型:	SETUPTOOL		
履歴 デスクトップ マイ コンピュータ マイ ネットワーカ	(∰) ar52233.ini		
	ファイル名(N):	ar52233.ini	
	ファイルの種類(工):	【情報ファイル (*.ini) ▼ キャンセル	

図 3.3.3 バージョンアップ情報ファイルの指定

5「次へ」をクリックしてください。

🛲 製品の選択	×
ファームウエアのバージョンアップ	統以事す。
ハーンヨノアッフ情報ノアイルを指え	EUCIAN
ファイル C:¥SETUPTOOL¥ar52233	B.ini 参照…
······································	£8.7
	103, 1

図 3.3.4

6 ダイアログボックスの内容(インストールされるバージョン)を確認し、「次へ」をクリックしてください。

このファームウエアインストーラは、ファームウエアVer.2.3.3 pl.1 をインストールし、ファームウエアのライセンスを有 効にします。
ファームウエアのインストールを始める前に、このアブリケーションを実 行しているPCとパージョンアッブ対象の製品がEthernetを経 由して通信できるように設定をしてからお使い下さい。
戻る 次へ キャンセル

図 3.3.5 バージョンの確認

7「IP ネットワーク」を選択し、バージョンアップの「対象機器の IP アドレス」を入力して、「OK」 をクリックしてください。^{*2}

🛲 インストール方法の選択	×
対象機器を制御する為の方法を選択して下	うし い。
「制御方法」 「 IPネットワーウ経由	
◎ シリアルホ⁰ート経由	設定
対象機器のIPアドレス: 192.168.10.1	
戻る OK	キャンセル

図 3.3.6 AR ルーターの IP アドレスの入力

8 ユーザー「manager」のパスワード^{*3}を入力し、「OK」をクリックしてください。AR ルーター がセキュリティーモードに設定されている場合、Security Officer レベルのユーザーでログインし てください。

🛲 በታイン 👘		×
ロゲインします manager権的 ロゲインして下	。 良以上の権限を持つアカウントで さい。	
ユーザ名:	manager	
パ*ጾワ− トჼ	****	
OK.	++>zu	

図 3.3.7 ログイン

^{*2} 誤ってファームウェアを消去し、さらに電源のオフ / オンまたは「restart reboot」コマンドによ る再起動を行ってしまった場合は、「シリアルポート経由」を選択してください。ファームウェ アが存在しない状態で、AR ルーターを起動すると BootROM モードとなり、Telnet は使用でき ません (tftp はサポート)。

^{*3} ユーザー名「manager」の初期パスワードは「friend」です。

9 バージョンアップが開始されます。ダイアログボックスの上段に進行状況の概要、テキストボックスに詳細なログが表示され、「情報」メッセージボックスにより実行中のコマンドが完了するまでの予想待ち時間が表示されます。ログは、ファームウェアインストーラーがインストールされているフォルダーに(ここでは¥SETUPTOOL)、020625_121234.logのようなファイル名で保存されます。

 	
3.77-ム71777の有効化 4.7ァームウエアの有効化 5.システムの再起動	ただいまファイルの書き込み準備中です。しばらくお待ちください。 この処理は数分かかる場合があります。 開始時間:17:28:11 予想待ち時間:約7分
Manager > act flash comp Info (1031260): Flash compacting DO NOT restart the router until compaction is	is completed.
Manager >	
	於了

図 3.3.8 インストール状況

重要:手順9が実行されている間は(数分かかります)、絶対にARルーターの電源をオフに したり、再起動しないでください。電源のオフや再起動を実行すると、フラッシュメモリー 上のファイルシステムが破壊されることがあります(設定ファイルなどの重要なファイルが 失われます)。

10 Windows XP (SP2) をご使用の場合で、下記のダイアログボックスが表示されたら、ただちに 「ブロックを解除する」をクリックしてください。^{*4}



図 3.3.9 ファイアウォールからの警告

^{*4} 図 3.3.9 のダイアログボックスが表示されている間、ファイアウォールは「3. ファームウェアファ イルの転送」をブロックしています。一定時間が経過すると、タイムアウトによりファームウェ アファイルの転送は失敗します。

図 3.3.9 のダイアログボックスに続いて、次のようなメッセージが表示された場合、ファームウェ アのバージョンアップは失敗です。「OK」をクリックすると、ファームウェアインストーラーが 終了しますので、図 3.3.9 の「ブロックを解除する」をクリックして、手順 2 (p.6)から再実行 してください。なお、バージョンアップが完了するまで^{*5}、AR ルーターの電源オフや再起動を行 わないでください。



「ファームウェアの有効化」まで完了した時点で、AR ルーターを再起動するか否か問われますので、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合、AR ルーターは再起動しません(ファームウェアインストーラーを終了した後、AR ルーターの電源のオフ / オン、または restart reboot コマンドを実行してください)。

インストール完了 🛛 🔀			
•	下記ファイルの転送、及びライセンスの有効化が 完了しました。		
	52-233.rez 52233-01.paz help.hlp		
	最後に再起動しますか? インストールしたファームウエアは再起動後に 有効となります。「いいえ"を選択した場合には、 手動で"restart reboot"コマンドを実行して下さい。		

図 3.3.11 再起動の確認

12「OK」をクリックしてください。



^{*5} この時点で、すでにファームウェアファイルは削除されています。電源オフや再起動を行ってし まった場合は、手順7(p.8)で「シリアルポート経由」を選択してください。

🛲 インストール状況			
現在実行中のコマンド 1.ロゲイン 2.古し、ファームウェアファイルの削除 3.ファームウェアファイルの転送 4.ファームウェアの有効化 5.システムの再起動			
Error (3049263): A licence already exists for this file.			
Info (1049003): Operation successful.			
Manager > del inst=pref			
Info (1049003): Operation successful.			
Manager > set inst=pref rel=52-233.rez pat=52233-01.paz			
Info (1049003): Operation successful.			
Manager > r			
終了 長			

図 3.3.13 ファームウェアインストーラーの終了

14「はい」をクリックしてください。

確認			×	
?	終了しても	ちよろしいですか	1?	

15 以上でファームウェアのバージョンアップは終了です。AR ルーターの再起動後、ハイパーター ミナルや Telnet でログインし、SHOW SYSTEM コマンドを実行すると、Software Version の項で ファームウェアのバージョンを確認することができます。SHOW FEATURE コマンドにより、ラ イセンスが与えられている機能の一覧が表示されます。

```
Manager > show system Enter
Router System Status
                                   Time 12:00:46 Date 01-Jan-2003.
Board ID Bay Board Name
                                      Rev Serial number
_____
Base
      195 AR410 V2
                                      M1-0 44931868
                    _ _ _ _ _ _ _ _ _ _
                                                  -----
Memory - DRAM : 16384 kB FLASH : 7168 kB
              -----
SysDescription
CentreCOM AR410 V2 <u>version 2.3.3-01 17-Apr-2002</u> ←現在のバージョン
SysContact
SysLocation
SysName
SysDistName
SvsUpTime
6048874 ( 16:48:08 )
Software Version: <u>2.3.3-01 17-Apr-2002</u> ←現在のバージョン
Release Version : <u>2.3.3-00 20-Jun-2001</u> ←リリースバージョン
Patch Installed : Release patch
Territory : japan
Help File : help.hlp
Boot configuration file: Not set
Current configuration: NVS
Security Mode : Disabled
Patch files
           Device Size
                           Version
Name
 <u>52233-01.paz</u> flash 124572 2.2-9
-
```

図 3.3.15 SHOW SYSTEM の表示例

4 トラブルシューティング

4.1 ファームウェアファイルの転送に失敗する

現象

図 4.1.1 のメッセージが常に表示され、ファームウェアファイルの転送に失敗する。*6

転送エラ	-
8	TFTPサーバからの応答がありません。
図 4.1.	 バージョンアップの失敗

原因

バージョンアップ対象の製品が tftp プロトコルを使用して、ファームウェアインストーラー (fwinst) からファームウェアファイルを取得しようとしましたが、Windows XP のファイア ウォールによって tftp プロトコルがブロックされています。

対策

「コントロールパネル」→「Windowsファイアウォール」^{*7}をダブルクリックしてください。 「例外」タブをクリックしてください。

図 4.1.2 のように「fwinst」にチェックマークを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows ファイアウォール	
全般 例外 詳細設定	
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのた Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性がす プログラムおよびサービス(P)	めのものを除き、)、ブログラムによって 5ります。
名前	
✓ fwinst	
☑ Ptftp32 for Windows	
ロ UPnP フレームワーク	
☑yappa – yet another petit proxy agent	
ロファイルとプリンタの共有	
☑ ファイルメーカー Pro	
■リモート アシスタンス	
-	
[プログラムの追加(R)] ポートの追加(Q)] 編集(E) (削除(<u>D</u>)
■ ■ Windows ファイアウォールによろプログラムのブロック時代に通知を表示する(N	n
T MURROWS NA 11, NO INCOMENDA 2500 DA 2500 DA 2000	2
例外を許可することの危険の詳細を表示します。	

図 4.1.2 fwinstのブロックを解除する

^{*6} 図 3.3.9 (p.9) のダイアログボックスで「ブロックする」をクリックすると、この状況に陥ります。

^{*7「}コントロールパネル」がカテゴリー表示になっている場合は、「コントロールパネル」→「セ

キュリティセンター」→「Windows ファイアウォール」のように進んでください。

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライド テレシスホールディングス株式会社が所有しています。 アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピー または転載しないでください。 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。 また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。 ©2001-2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウエアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録 商標です。

マニュアルバージョン

2006年8月24日	Rev.G	記述訂正
2005年3月3日	Rev.F	Windows XP SP2 対応
2004年7月20日	Rev.E	fwis-v196.exe (AR)
2003年6月3日	Rev.D	fwis-v192.exe (AR)
2002年12月19日	Rev.C	fwis-v19.exe (AR)
2002年7月10日	Rev.B	fwis-v15.exe、AR/SW シングルソース化
2001 年 10 月 12 日	Rev.A	初版(AR)